

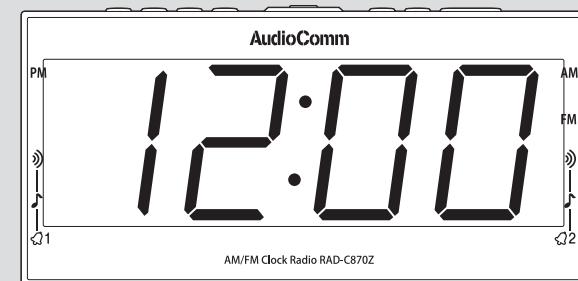
AudioComm®

AM/FM クロックラジオ

取扱説明書

保証書付

型番: RAD-C870Z 品番: 03-0375



このたびは、**AudioComm® AM/FM クロックラジオを
お買い上げいただき
まことにありがとうございます。**

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、
ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目次

| | |
|-------------------|-------|
| 免責事項 | 1 |
| 安全上のご注意 | 2~4 |
| 各部の名称 | 5 |
| 使い始める前の準備(電源について) | 6 |
| 時刻の設定方法 | 7 |
| ディスプレイの明るさについて | 7 |
| ラジオを聞く | 8~10 |
| アラームの使いかた | 11~12 |
| スリープ機能について | 13 |
| 故障かなと思ったら | 13 |
| お手入れのしかた | 14 |
| 主な仕様 | 14 |
| 保証書とアフターサービスについて | 14 |
| 保証書 | 裏表紙 |

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
(左図の場合は「感電注意」が描かれています。)



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
(左図の場合は「分解禁止」が描かれています。)



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
(左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。)

警告



コンセント
から抜く



接続場所を
選ぶ

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。



コンセント
から抜く



禁止

万一、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。



分解禁止

電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続し、異常が発生した場合は速やかに電源プラグをコンセントから抜く

- 手が届きにくい場所にあると、異常があつたときに対応が遅れることがあります。
- 本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。

表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない

- 火災・感電の原因となります。



本機を分解、修理、改造しない

- 火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

| | | | |
|--|---|--|--|
| | 海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。 | | 本機の上に花瓶などの水が入った物を置かない ●火災・感電の原因となります。 |
| | 乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする ●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。 | | 電源コードを敷物などで覆わない ●気づかず重い物を載せてしまい、火災・感電の原因となります。 |
| | 本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使わない ●感電や故障の原因となります。 | | 水かけ禁止 |
| | 雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない ●感電の原因となります。 | | 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●電源コードが破損して火災・感電の原因となります。 |
| | 狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機に新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどをかけて通気口をふさがない ●火災の原因となります。 | | 本機や電源コードの上に重い物を載せたり、電源コードの上に本機を載せない ●電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。 |
| | 本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるような物を置かない | | 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。 |

⚠ 注意

| | | | |
|--|---|--|---|
| | 調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。 | | ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない ●感電の原因となることがあります。 |
| | 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。 | | 電源コードを熱器具に近づけない ●電源コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 |
| | ほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。 | | ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 |

⚠ 注意

| | | | | |
|--|--|--|-----------|---|
| | 乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる ●間違えると乾電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 | | コンセントから抜く | 旅行などで長期間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す ●火災・液もれの原因となることがあります。 |
| | 音量を上げすぎない ●大きな音量で長時間続けて聞くと、周囲の迷惑になったり、聴力に悪い影響を与えることがあります。 | | コンセントから抜く | お手入れの際や移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。 |
| | 指定以外の乾電池や使用推奨期限を過ぎた乾電池は使用しない。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わない ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 | | 禁止 | 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。 |
| | 電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する ●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。 | | 掃除をする | 電源コードを引つ張らない ●電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグを持って抜いてください。 |

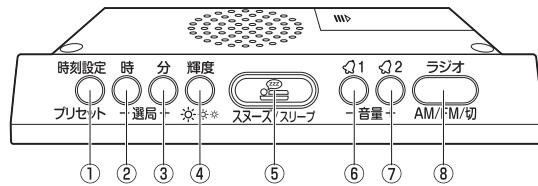
乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

| | |
|--|---|
| | ・火中の投入、加熱、分解をしない ・取り外した乾電池を幼児に触らせない ・ショートさせない ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない |
| | ・⊕の表示どおりに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・使用推奨期限内の乾電池を使う ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池と一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく |

各部の名称

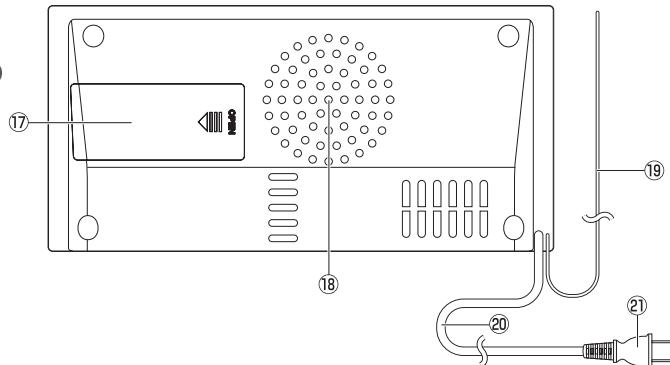
上面



前面



背面



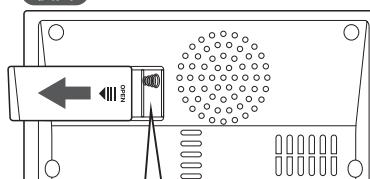
- | | | |
|------------------|------------------|---------------|
| ① プリセット／時刻設定ボタン | ⑧ AM / FM / 切ボタン | ⑯ アラーム2ラジオランプ |
| ② 選局(-)/時設定ボタン | ⑨ PMランプ | ⑰ ディスプレイ |
| ③ 選局(+)/分設定ボタン | ⑩ アラーム1電子音ランプ | ⑱ 電池ボックスカバー |
| ④ 輝度調整ボタン | ⑪ アラーム1ラジオランプ | ⑲ スピーカー |
| ⑤ スヌーズ/スリープボタン | ⑫ AM放送ランプ | ⑳ FMワイヤーアンテナ |
| ⑥ 音量(-)/アラーム1ボタン | ⑬ FM放送ランプ | ㉐ 電源コード |
| ⑦ 音量(+)/アラーム2ボタン | ⑭ アラーム2電子音ランプ | ㉑ 電源プラグ |

使い始める前の準備(電源について)

1 時計バックアップ用乾電池を入れます。

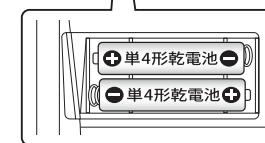
時計バックアップ用乾電池を入れておくと、停電時や電源プラグを抜いたときに、現在の時刻設定やアラーム設定、ラジオのプリセット内容を保持します。ただし、時計バックアップ用乾電池は各種設定を本機内に保持するためのものなので、停電時や電源プラグが家庭用コンセントから抜かれている状態では、ディスプレイには何も表示されません。

後面



- ① 電池ボックスカバーを開けます。

▲部を押しながら矢印の方向にスライドさせてください。



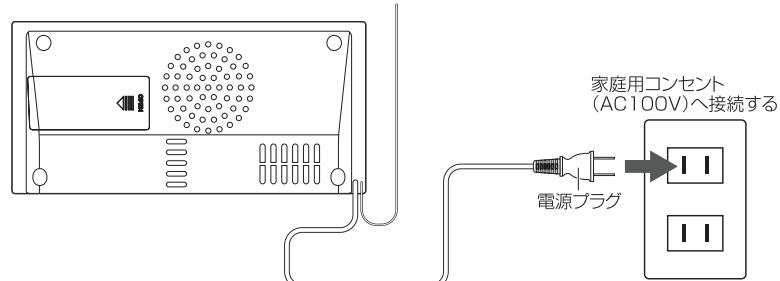
- ② 単4形乾電池×2本(別売)を、
+と-の向きに注意しながら入れます。
コイルばねのあるほうが-(-マイナス)です。-側から先に入れてください。

- ③ 電池ボックスカバーを元どおりに
しっかりと閉めます。

単4形乾電池×2本(別売)

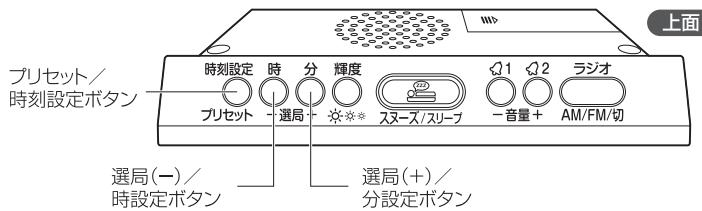
2 電源プラグを家庭用コンセントに差し込みます。

電源プラグを家庭用コンセントに接続すると、ディスプレイに「12:00」(未設定状態)が点滅表示されます。P.7「時刻の設定方法」を参照して、時刻を設定してください。



- 家庭用コンセントから電源プラグを抜くときは、事前に必ず本機の電源を切ってください。
- バックアップ用乾電池を交換するときは、電源プラグが家庭用コンセントに差込まれている状態で行なってください。電源プラグを抜いてから行なうと、現在の時刻など、各種設定が削除されます。

時刻の設定方法



電源OFFの状態で操作してください

- 1 プリセット／時刻設定ボタンを長押しします。

時刻表示が点滅します。



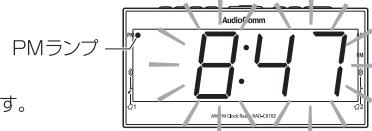
- 2 選局(-)／時設定ボタンと選局(+)／分設定ボタンで、時刻を合わせます。

選局(-)／時設定ボタン：「時」を合わせます。

選局(+)／分設定ボタン：「分」を合わせます。

どちらのボタンも、長押しすると数字が早送りされます。

午後の時刻の場合は、PMランプが点灯します。



- 3 プリセット／時刻設定ボタンを押します。

点滅が停止して設定が確定します。約5秒間、何も操作しない状態が続いた場合も、そのまま設定が確定します。

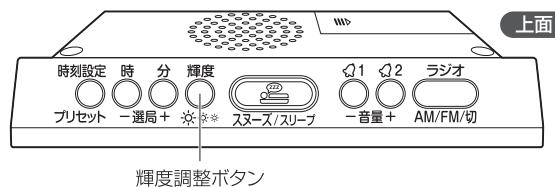
ヒント

時刻設定後、電源が入っていないときにプリセット／時刻設定ボタンを短く押すと、秒が表示されます。約5秒間そのままになると、通常の時刻表示に戻ります。

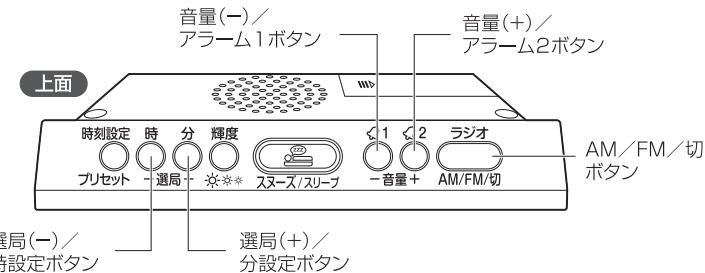
ディスプレイの明るさについて

輝度調整ボタンを押すと、ディスプレイの明るさを3段階で調節できます。

押すたびに明るさが変化します。



ラジオを聴く



- 1 AM／FM／切ボタンを押します。

電源が入ります。

- 2 必要に応じて、AM／FM／切ボタンをもう一度押し、AMまたはFMを選びます。

電源が入っているときは、AM／FM／切ボタンを押すたびに、AMとFMが切り換わります。



選択しているバンドに応じて、AM放送ランプまたはFM放送ランプが点灯します。

- 3 選局(-)／時設定ボタンまたは選局(+)／分設定ボタンで、お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。

どちらのボタンも押すたびに、AMでは9kHz、FMでは0.1MHzごとに送られます。また、長押しすると周波数が自動で送られ、いちばん最初に受信できた放送局で止まります。

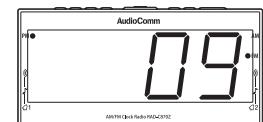
周波数は約5秒間表示され、その後、時刻表示に変わります。



- 4 音量(-)／アラーム1ボタンまたは音量(+)／アラーム2ボタンで、音量を調節します。

00～15の間で調節できます（音量は約3秒間表示されます）。

音量の上げすぎにご注意ください。



- 5 終了するときは、AM／FM／切ボタンを長押しします。

電源が切れ、現在の時刻を表示します。

ラジオを聴く(つづき)

受信状態をよくするには

●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



ヒント

テレビの近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れことがあります。このようなときは、本機を離してご使用ください。

FM補完放送「ワイドFM」について

本機はFM周波数帯域が76~108MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

テープなどで留める

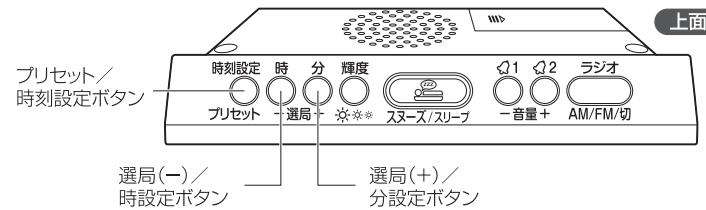
●FM放送の受信

FMワイヤーアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて、受信状態が最も良くなるように調節し、テープなどを使って先端を壁に留めてください。



よく聴く放送局を登録する(プリセット選局)

よく聴く放送局を登録しておくと、簡単に選局することができます。バンドごとに最大10局を登録することができます。



プリセット登録のしかた

① 登録した放送局を受信している状態で、 プリセット／時刻設定ボタンを長押しします。

登録可能なプリセット番号が点滅します(初めて登録するときは、AMの場合は「AO1」、FMの場合は「FO1」が点滅します)。表示された番号で登録する場合は、③に進んでください。



② 選局(−)／時設定ボタン または選局(+)／分設定ボタンを押し、 プリセット番号を変更します。



③ プリセット／時刻設定ボタンを押します。

登録が確定し、受信周波数を表示します。その後、現在の時刻表示になります。

ご注意

操作しない時間が約10秒続くと、設定がキャンセルされます。必要に応じて最初からやり直してください。

ヒント

すでに登録してあるプリセット番号は、新たに登録し直すことで上書きすることができます。

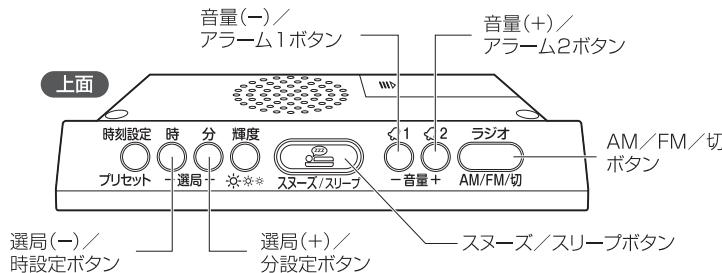
登録した放送局の選びかた

お聴きになりたいバンドを選んだ後、プリセット／時刻設定ボタンを短く押すたびにプリセット番号が流れ、登録している放送局を受信します。

アラームの使いかた

本機では、アラーム1とアラーム2の2つのアラームを使い分けることができます。また、アラーム起動音は電子音またはラジオ音声から選ぶことができます。

ご注意 本書ではアラーム1への設定方法を解説します。アラーム2に設定する場合は、「音量(−)／アラーム1ボタン」を「音量(+)／アラーム2ボタン」に読み替えて操作してください(アラーム2設定時は、ディスプレイのランプ表示も、アラーム2側が点灯／点滅します)。



アラーム設定のしかた

電源OFFの状態で操作してください

ご注意 アラーム起動音にラジオ音声を設定する場合、最後に聴いていた放送局にてアラームが起動します。また、アラーム起動時の最大音量も、最後に聴いていた音量となります。あらかじめ放送局と音量を適切に設定し、電源を切ったうえで、以下の操作をしてください。

① 音量(−)／アラーム1ボタンを長押しします。

時刻表示とアラーム1電子音ランプが点滅します。



アラーム1電子音ランプ

ヒント ラジオ音声をアラーム起動音に設定するときは、もう一度、音量(−)／アラーム1ボタンを押してください。アラーム1ラジオランプが点滅します。

アラーム1ラジオランプ



② 選局(−)／時設定ボタン または選局(+)／分設定ボタンを使って アラームの時刻を設定します。

選局(−)／時設定ボタン：「時」を合わせます。

選局(+)／分設定ボタン：「分」を合わせます。

どちらのボタンも、長押しすると数字が早送りされます。

③ 音量(−)／アラーム1ボタンを押します。

点滅が停止して設定が確定します。約5秒間、何も操作しない状態が続いた場合も、そのまま設定が確定します。その後、現在の時刻表示に戻ります。

アラーム設定が有効なときは、現在の時刻を表示しているときでも、アラーム1電子音ランプまたはアラーム1ラジオランプが点灯します。

ヒント

●アラームの設定時刻を確認するには：
電源が切れているときに音量(−)／アラーム1ボタンを押すと、一時的に設定時刻を表示します。

●アラーム設定を解除するには：
電源が切れている状態で音量(−)／アラーム1ボタンを長押しした後、いったん指を離し、さらにアラーム1電子音ランプ及びアラーム1ラジオランプが消えるまで、数回押してください。しばらくすると、設定が解除されて現在の時刻表示に戻ります。

アラームが起動したら

アラームが起動すると、徐々にアラーム起動音が大きくなります。

ご注意

アラーム起動後、何も操作しない場合、1時間後に自動的に停止します。

●アラーム音を止めるには：

AM／FM／切ボタンを押します。ただし、このままの状態では、アラーム1電子音ランプまたはアラーム1ラジオランプが点灯しており、翌日の同時刻に再び起動します。起動しないようにするには、上記ヒントの「アラーム設定を解除するには」を参照して、解除操作を行なってください。

●スヌーズ機能について：

アラーム起動中にスヌーズ／スリープボタンを押すと、一時的にアラームが鳴り止みます。スヌーズ中は、設定したアラーム1電子音ランプまたはアラーム1ラジオランプが点滅します。そのままにすると、約9分後に再びアラームが起動します。

スヌーズ中にアラームの再起動を解除するときは、AM／FM／切ボタンを押してください。

スリープ機能について

電源が切れているときにスヌーズ／スリープボタンを押すと、自動で電源が切れるまでの時間を設定して、ラジオを聴くことができます。また、ラジオを聴いているときにスヌーズ／スリープボタンを押した場合も、自動で電源が切れるまでの時間を設定することができます。

① スヌーズ／スリープボタンを押します。

電源が入り、「90」(電源が切れるまでの分数)が表示されます。



② 設定したい時間が表示されるまで、さらにスヌーズ／スリープボタンを数回押します。

90分から10分まで、10単位で設定できます。約3秒間、そのままにすると、設定が確定します。



ヒント

- スリープ設定をしてラジオを聴いているときに、スヌーズ／スリープボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間を一時的に表示します。
- スリープ設定を解除したいときは、スヌーズ／スリープボタンをさらに数回押して、「OFF」を選んでください(ラジオの受信はそのまま続きます)。

故障かなと思ったら

| 症状 | チェック項目 |
|--------------------------|---|
| 電源が入らない | ●電源プラグは正しく家庭用コンセントに接続されていますか。 |
| ラジオの音が出ない | ●AM／FM／切ボタンを押して電源を入れましたか。 ●音量が最小になっていませんか。 |
| ラジオに雑音が入る | ●近くで携帯電話を使用していませんか。 ●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。 |
| アラーム時にラジオが起動しない | ●ラジオの音量を最小にしましたまま設定ませんでしたか。 |
| ディスプレイが暗い | ●輝度調整ボタンを押して調節してみましたか。 |
| 電源プラグを抜き差しすると時刻設定がクリアされる | ●時計バックアップ用乾電池が入っていますか。 ●時計バックアップ用乾電池が消耗している可能性があります。新しい乾電池と交換してみてください。 |

お手入れのしかた

●本機表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れかひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後にから拭きをしてください。

●電源コードのプラグにほこりがたまると、発火する危険があります。プラグをコンセントから抜いて時々清掃してください。

●シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、
アルコールは
使用しないでください。

主な仕様

| | |
|--------|--|
| 電源 | AC 100V 50／60Hz (定格消費電力：4W) |
| | 時計バックアップ用電源：DC3V 単4形乾電池×2本(別売) |
| 実用最大出力 | 0.5W |
| 受信周波数 | AM：522～1620kHz(9kHzステップ) FM：76～108MHz(0.1MHzステップ) |
| アンテナ | AM：内蔵フェライトバーアンテナ FM：ワイヤーアンテナ |
| 外形寸法 | 幅174×高さ84×奥行52mm(突起物含まず) |
| 質量 | 約475g(時計バックアップ用乾電池を含まず、電源コードを含む) |
| 時計精度 | 月差約±45秒 |
| 付属品 | 保証書付取扱説明書 |

※仕様及び外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。

※本書のイラストは実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。